

東京キリスト教学園 ボランティアセンター活動報告vol.21



2018/10/2

■いつもお祈り感謝いたします。

■ 献金報告

6月20日～6月22日のチャペル後に行なった夏のボランティア活動のための学内献金では31,168円の献金が集まりました。

8月14日～TCUのホームページとTCUボランティアセンターFacebookページにて、岡山でのボランティア活動のための献金を募り、86,000円集まりました。

この献金は、夏のボランティアキャンプと岡山県に学生を派遣するために使われました。残額はこれからの被災地派遣の為に使わせていただきます。

今後もTCUから被災地への派遣を続けていくために、祈りと献金のサポートをよろしく願いいたします。

■ 活動報告

* サクラハウス子どもキャンプ(宮城県)

8/1～8/3に山形県にあるポレポレファームにて、川上栄輝、田中蒔乃、平井和基、堀裕貴、林茉莉、遠田ゆりなの6名がボランティアキャンプに参加しました。様々なプログラムを通して、被災地の子どもたちと交わりました。

↓以下はボランティアに参加した学生の感想です。

◆感想:国際キリスト教学専攻卒業生 川上栄輝さん

今夏8月1日～3日まで、仙台ボランティアキャンプに参加してきました。キャンプ前、現地を見て正直に思ったことは「こんなに復興している中、まだキャンプをやる必要があるのか?」ということで、ふわっとした心意気のまま、キャンプに臨んでしまいました。実際キャンプにやってくる子たちも、元気な子ばかり、その子たちから震災の傷を感じるようなことはありませんでした。

しかし、キャンプを通しその子たちと関わっていく中で、その子たちの背景を知ることになります。住む場所や大切な人を失い、たくさんの大きな傷を持っている子たちが多くいたのです。このキャンプはそんな傷を抱えた子たちの居場所になっていて、確かにそれは神の愛で造られたものだと感じました。目に見えるものはすぐに良くなっていきます。しかし、心の傷は簡単には癒えません。このキャンプが、神様の愛が、子供達の傷を癒していく様子を、期間中僕はしっかり見る事ができました。

反対に、本当の復興まではまだまだ時間がかかるということも思い知らされ、続いて祈ることの大切さも知りました。仙台ボランティアキャンプ、本当に素晴らしく、濃いキャンプでした。これからもひたすらにこのキャンプが用いられることを願っています。



★募集★

ボランティアセンターの新しいスタッフを募集しています。関心のある方はリーダーズ(遠田、マクドエル、泉、クレン)までご連絡ください。

* 西日本豪雨災害支援ボランティア

6月下旬から7月上旬に西日本を襲った豪雨によって、各地で土砂崩れや河川の氾濫が相次ぎ、大きな被害が出ました。これを受けて、TCUから4名の学生(遠田ゆりな、外山実祈、齊藤エステル、泉ユリエ)を、8月26日～8月30日の間、岡山にボランティアを派遣しました。皆様には、多くの祈りと献金によるサポートを賜り感謝します。

◆感想:神学科3年 齊藤エステルさん

被害を受けたまさにその時、私は夏期伝として初めて岡山県を訪れ、まさかその1ヶ月後にボランティアで再訪するとは思っていませんでした。水で押し流された家財やゴミの山、道路のすぐ脇に横転していたトラック、片付いているものもあれば変わらない景色もあって、この1ヶ月間被害を受けた方々はどんな心境で生活していたのだろうか、そんなことを思いながらボランティア活動に加わらせていただきました。実際に出た現場は児童館で、私たちが目にした時は鉄骨の骨組みという状態になっていました。残った骨組みをそのまま用いてもう一度児童館を開館するために、ひたすら鉄骨のビス抜きをするという作業でした。猛暑での作業ではあったものの、子ども達の笑顔がここに帰ってくることを祈り思い巡らしながら、また、「今、自分にできることは何なのか?」そんなことも問われながら、非常に有意義なボランティア活動となりました。児童館が再開したその時に、またあの場所に立てることが楽しみです。

◆感想:国際キリスト教学専攻4年 外山実祈さん

連日ニュースや新聞で目にしていた岡山県倉敷市真備町。漂う悪臭、砂埃、街のあちこちに残る土砂や瓦礫、真備町に行ったからこそ知る多くの痛みと悲しみがありました。水とともに流れてきた瓦礫がびっしりと詰まり押し倒されたフェンス、2階まで浸水し家中の窓が開けられた空き家、水素爆発により真っ黒になった工場、被害の光景を目にし説明を受けてもなお、想像することもその事実を受け止め理解することもできませんでした。ニュース等で何度も目にした被災地の姿は、当たり前ですが画面で見るよりもはるかに心に突き刺さるものでした。公民館でのボランティアでは、土砂の片付け、壁の汚れ落としをさせていただきました。再び公民館に真備町の方々が集う日に向けての一歩に関わらせて頂き感謝でした。

今回のボランティアを通し、多くの痛みと悲しみを知ったと同時にそこに神様が働いてくださっていることを強く感じました。関心を薄れさせることなく、今後も岡山をはじめ痛みの中におられる方々のために祈り続けていこうと思われました。

【お知らせ】

10月18日(木)19:15～バルナバにてボランティア報告会を行います。岡山でボランティアに関わっておられる牧師先生も来てくださるので、ぜひご参加ください!